

# 「新システム監査基準／管理基準の改訂」について

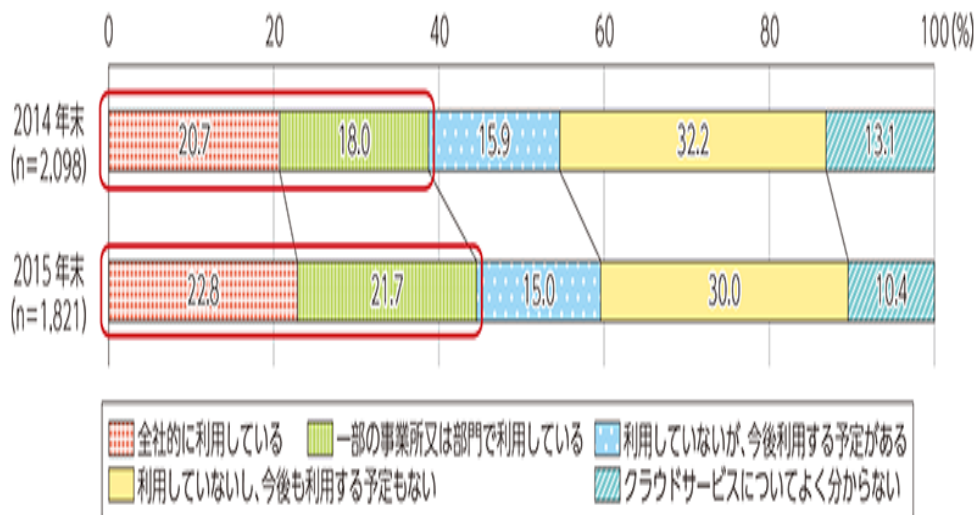
経済産業省 商務情報政策局  
サイバーセキュリティ課

- 1 改訂の背景
- 2 改訂までの経緯
- 3 問題意識
- 4 改訂の方針
- 5 改訂の基本的なポイント
- 6 「システム監査基準」の改訂のポイント
- 7 「システム管理基準」の改訂のポイント
- 8 おわりに

# 1. 改訂の背景

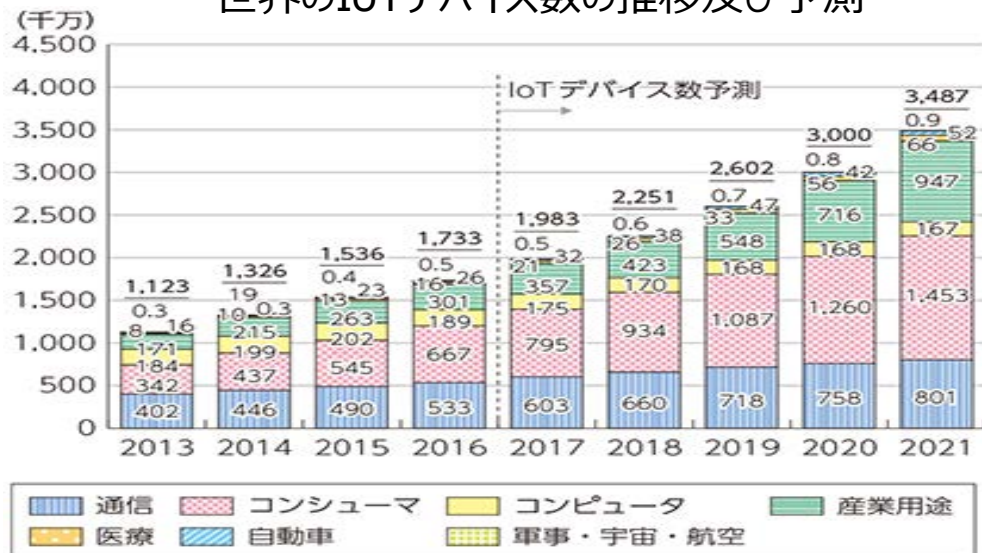
- 最終改訂から10年以上経過。
- クラウドサービスの普及や I o T 社会の到来といった社会状況の変化。
- 「情報セキュリティ管理基準」や「情報セキュリティ監査基準」等のガイドラインとの位置付けの整理の必要性。
- 各方面からの見直しの要望。

クラウドサービスの利用状況



(出典) 総務省「通信利用動向調査」

世界のIoTデバイス数の推移及び予測



(出典) IHS Technology

## 2. 改訂までの経緯

- 平成28年度:有志による検討会において検討を開始。
- 平成29年度:「システム監査に関する検討会」による改訂案の作成。パブリックコメントを実施。
- 平成30年度:改訂・公表(4月20日)

### システム監査に関する検討会 構成員 (敬称略・五十音順)

氏名	所属
遠山 暁	システム監査学会
梶本 政利	日本ITガバナンス協会
神橋 基博	株式会社 三井住友フィナンシャルグループ
黒澤 兵夫	システム監査学会
島田 裕次	学校法人 東洋大学
力 利則	公益財団法人 未来工学研究所
原田 要之助	情報セキュリティ大学院大学
堀江 正之	学校法人 日本大学
松枝 憲司	日本システム監査人協会
宮下 清	一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会
米川 弘幸	ISACA東京支部

### システム監査に関する検討会 オブザーバ

所属
日本セキュリティ監査協会
日本公認会計士協会
独立行政法人 情報処理推進機構
一般社団法人 日本内部監査協会
公益財団法人 金融情報システムセンター

※その他、システム監査検討WG、及びシステム管理基準検討WG構成員から必要に応じてオブザーバ参加。

### 3. 問題意識

- 情報システムの範囲が拡大している社会情勢に対応できていない。
- 情報セキュリティ監査制度とシステム監査制度の対象範囲が曖昧になり、整合性が取れていない部分が出てきている。
- 従来の開発サイクルを前提とした基準となっているため、最新の開発手法に有効に対応出来ていない。
- 海外の規格や国内ガイドラインとの位置付けが不明確である。
- 監査基準や管理基準としては、その記述内容が必ずしも十分でない。

## 4. 改訂の方針

- 情報セキュリティ監査との基本的な考え方は踏襲する。
- 中小企業や地方自治体が取り入れやすい制度となるようにする。
- ITガバナンスにおけるシステム監査制度の位置付けを明確化し、既存の国内外規格と整合性がとれるものとする。
- 人的資源や業務プロセスの管理の概念を取り入れる。
- 記述形式を利用しやすいように工夫する。

## 5. 改訂の基本的なポイント

- ポイント 1

国際規格等との整合性をとるための記載の見直し。

- ポイント 2

新たな開発方法や技術を踏まえた見直し。

- ポイント 3

基準の意図を明らかにし、実施すべき内容を具体化するための構成及び記述形式の見直し。

## 6. 「システム監査基準」の改訂ポイント

- 「主旨」及び「解釈指針」を併せて記載し、基準の記載内容に基づく運用が行いやすくなるよう見直しを行った。
- 「しなくてはならないこと」は「基準」に記載し、「することが望ましいこと」は「解釈指針」に記載するよう見直しを行った。
- 実務への適用を踏まえ、監査実施の流れに沿った構成へ見直しを行った。



## 7. 「システム管理基準」の改訂ポイント

- ITガバナンスについてのISO/IEC38500や事業継続についてのISO/IEC22301などの国際規格との整合性をとるとともに、国際的に影響力を有するCOBITなどの内容を踏まえ、見直しを行った。
- 改訂前の管理基準は、ウォーターフォール型のシステム開発を前提としていたが、短期間での反復した開発を行うアジャイル型のシステム開発における取扱いについても管理策として含め、また、クラウドの利用などを念頭に置いた整理などの見直しを行った。
- 「主旨」及び「着眼点」を併せて記載するとともに、行為の主体を明らかにすることにより、基準の記載内容に基づく運用が行いやすくなるよう見直しを行った。

## 8. おわりに

- 日本においてもサイバー攻撃のリスクは高まっている。
- 経済産業省では、産業サイバーセキュリティ研究会、その下の3つのWGにおいてサイバーセキュリティに関して幅広く検討。
- サプライチェーンにより中小企業においてもその重要性は変わらない。
- サイバーセキュリティの確保は、システムが適切に管理されていることが前提。

### 産業サイバーセキュリティ研究会・WG

